



(ゲートボールで健康“いきいき”)

Contents

平成21年第4回定例会	2	3
一般質問	4	7
議会サミット報告	8	
研修報告・臨時会	9	
議会日誌・編集後記	10	

うたづ議会だより

電子メール：gikai@town.utazu.kagawa.jp

発行：宇多津町議会

〒769-0292 香川県綾歌郡宇多津町1881

☎ (0877) 49-8014

編集：議会広報特別委員会

平成21年 第4回定例会



平成21年第4回定例会は12月8日から12月16日まで開催し、議案7件、継続審査1件、陳情3件を審議した。一般質問は二日に分けて実施し、8人が登壇「まちづくり交付金廃止の時、今後の事業計画は」「空き家・空地の不適正管理に関する対応を」「行政サービスの向上、総合世話人の配置を」「ムダを省いた予算づくりを」「薬物汚染から若者を守れ」「住基カードの活用状況」「天皇陛下に入浜藻式塩田の塩御献上する」「個人情報の管理体制を問う」などについて質疑が行われた。

主な内容

議案

- ・平成21年度一般会計補正予算（第4号）
歳入歳出に2億948万円を追加し、総額を60億6,987万円に
賛成多数（八人）で原案可決
- ・平成21年度下水道事業特別会計補正予算（第2号）
全会一致で原案可決
- ・平成21年度水道事業特別会計補正予算（第1号）
全会一致で原案可決
- ・宇多津臨海公園の指定管理者の指定について
全会一致で原案可決

（内容）宇多津臨海公園の管理を「宇多津町振興財団」に委託するため

条例改正

水道事業給水条例の一部を改正する条例について

賛成多数（六人）で継続審査

（内容）老朽管を耐震化するなど事業費確保を目的として水道料金を改定するため

請負契約

平成21年度平山地区耐震貯水槽築造工事請負契約の締結について

賛成多数（八人）で原案可決

（内容）5、985万円（株村上組（高松市ハゼ町877番地）が受注した

平成21年度パッカー車購入に伴う契約の締結について

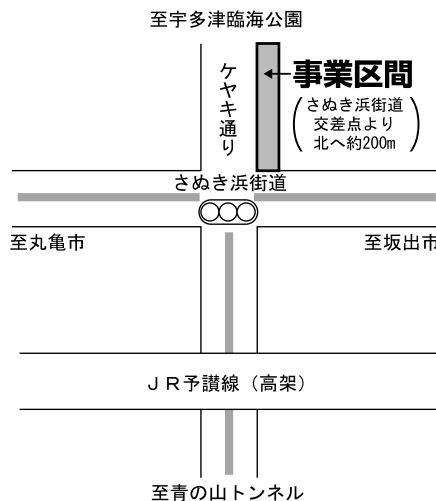
賛成多数（八人）で原案可決

（内容）735万円（四国機器（高松市観光通2丁目2番15号）が受注した

主な補正内容（事業）

- ・消防施設管理費（緊急防災通報受信システム）に670万円
- ・健康増進事業費（婦人特有ガン検診）に260万円
- ・観光振興事業費（松平家雛人形の輸送・警備費等）に140万円
- ・保育所費（加湿空気清浄機の購入費）73万円

まちづくりファンド助成金（ケヤキ通りイルミネーション設置事業）に680万円



陳情

くらし支える行政サービス・人員の拡充を求める陳情

賛成少数（一人）で否決

JR不採用問題の早期解決を求める議会決議への要請

賛成少数（一人）で否決

核兵器の廃絶と恒久平和を求める陳情について

全会一致で可決

住民の皆様へ

「意見書、陳情、要望書などの受付」について

締め切りは定例会の前月末日（3月定例会では2月28日）までの受付とし、それ以降は次回の定例会の取り扱いとさせていただきます。

Q&A

まちづくり交付金廃止の時の今後の事業計画は



宮本 隆 議員

Q 事業仕分けにより、まちづくり交付金は廃止すべきなどの意見があり、廃止になった場合、平成17年より、交付金によるまちづくりを進めてきましたが、平成22年度よりどのようなまちづくり事業を計画されるのか。

A 谷川町長
今だ、まちづくり交付金の事業は、政府の方針が定かになっていないという現状です。一方、我々は切れ目なくまちづくり交付金事業を活用してまちづくり事業をやりたい、ということもあり、四国地方整備局に我々の考えていることは申し上げ、今調整を図っています。

その中で感じるのは、この交付金事業がなくなるということはない、と理解をしております、どんな内容になるのかは、今のところ地方整備局でも定かに分かっていません。

町としてはまちづくり上、この交付金事業がぜひ継続をされ、事

業が実施されることを望んでやみません。

Q 遊具設置公園について

町内には、15カ所の遊具設置公園がありますが、14カ所が旧町内・新都市地域です。

南部には1カ所だけであり、子供も増えている南部地域に、安全で安心な遊具設置公園の、新設予定などは。

A 松井建設課長

南部地域における遊具設置公園としては、「津の郷広場」、「県営住宅内広場」、「向山南及び向山北コミュニティ分館広場」等がございます。

そうした中、昨年度あたりから、鍋谷自治会からの強い要望もあり、道路沿いで見通しの良い「鍋谷コミュニティ分館敷地内」に遊具を設置すべく、地元自治会と協議を行っているところでございます。

空き家・空き地の不適正管理に関する対応を



大松喜次郎 議員

Q 庭木や雑草の伸び放題と塀や家屋の損傷で、困惑する周辺住民もいると思う。苦情件数及び内容と、対処の結果はどうか。不適管理の場は、犯罪・放火・景観・地震問題が生じるが、方策をお考えか。また、実態把握は。

A 谷川町長
方策には、官または民での活用観点、或いは防災上の観点があります。一例では緊急輸送路の指定の際の両側の家の耐震対策ですが、国に施策の構築を要望し、取り入れられるなら国の補助で取り組みたいと思います。また、まちづくり交付金事業の計画でポケットパークや耐震など所要の施策を組み合わせ、議会とも協議したいと考えます。

A 谷川総務課長

住宅土地統計調査では、五千二百二十戸のうち空き家は三百十戸で、ここ数年、空き家に関しての苦情は寄せられていません。

A 延住民生活課長

草刈りの苦情は、平成二十一年度は十一月末で六件寄せられ、土

地所有者に文書で通知などしています。

Q 局地的豪雨の避難発令基準と地震マップ作成の予定は

避難の情報伝達はどうなっているか。また、水害・高潮・土砂災害の避難勧告発令基準はあるが、局地的豪雨はどうか。

揺れと、液化化や火災被害を予測するマップは。

A 谷川総務課長

避難勧告の発令基準は地域防災計画に明記されていますが、現在、県や気象台からの発表をもとにして、災害本部で総合的に判断し、発令するというのが現状です。防災行政無線、広報車などによって伝達を行います。ただ、局地的豪雨の際の避難勧告は、災害時要援護者の安全確保の観点から、早い段階で呼びかけることとしています。地震マップですが、当町では独自のマップは作成していませんが、県が平成十七年に香川県南海地震被害想定調査を作成し、地震の推定震度の分布図、地盤の液化化や火災被害などの予想も公表しています。

行政サービスの向上、 総合世話係の配置を



谷川俊博 議員

Q お隣の、坂出市においては、12月1日から坂出市役所コンシェルジュ「総合世話係」をスタートさせています。宇多津町においても窓口までの案内役である、コンシェルジュを取り入れてはいいかがでしょうか。

A 中村総務課主幹

現在、町は、継続した自主自立を目指し行財政改革を推し進めています。そのため徹底した退職者管理やPFI事業等による民間委託の推進に努めているところです。その結果、平成八年度で百五十六名だった職員数を現在百二十七名まで削減しています。このことは、少ない職員数で政策的経費をいかに捻出するかを心がけ、違った形でのサービスを住民の皆様にお返ししているものと思っています。以上から、今後一層職員存在意義を各職員に浸透させ接遇等の行政サービスの向上に努めることで、現在の方式で対応させて頂きたいと考えています。

Q 公共施設等に、高齢者優遇、施設利用割引制度を

A 合田教育次長

宇多津町内の体育、文化、健康増進等の公共施設等の高齢者優遇、施設利用割引制度の取り組みのご検討をいただけないでしょうか。県内では、県立の施設をはじめ、八市六町で美術館、プール施設や温泉施設など、個人が利用できる六十三施設で入場料などに関して優遇措置がとられています。ただ、体育施設など、団体の活動に対して時間単位で貸し出しをする場合、そういう施設については、ほとんどの市町で優遇措置はとっていないとのこと。このような中で、町でも保健センター、体育施設なども団体が活動する場合に貸し出しをしており、時間単位で利用料も負担いただいていますので、今後も現状のままに対応していきたいと考えています。

むだを省いた予算づくりを！



香川虎生 議員

Q むだのない予算づくりを行っているか。その取り組みは？国民健康保険の今年度の収支予想は？来年度の保険料の値上げはあるのか。

A 中村総務課主幹

町では、当初予算編成の過程で、財政部門が各課の全ての予算要求書の事業、費目に渡り予算査定をしています。さらに各事業の執行過程で、実施手法の見直し等により、一層の経費の節減や、事業によつては受益者負担の観点から一部負担のお願いなどをしています。また、行政評価制度を導入し、評価委員さんからのご意見を予算査定時に反映させていくこととしています。今後も住民と行政が協働し、コスト意識の徹底と経費の節減、行政評価結果の反映と重点施策への重点的な予算配分を基本姿勢として、平成二十二年度当初予算に取り組み所存です。

Q H21年11月に各団体と町長との懇談会が4回開催されたが、主な内容は？

A 谷川町長

住民からどのような意見、要望などがあつたのか。様々な意見を今後のまちづくりにどのように活かしていくのか？懇談会では、大きくは「町民の健康づくりの推進」、「子育て、学力・スポーツ、文化伝統」、「官民協働の安全と安心のまちづくり」、「既成市街地や臨海公園の整備、産業基盤の強化、にぎわいの創出」の四項目にわたる、貴重なご意見、ご要望をいただきました。これを受けて部内で協議を進め、新年度予算で対応すべきものはある、あるいは検討を加えて民、官協働でなければならぬものはしていく、あるいは実態を調査すべきものは調査していく、というようなことを行いながら、適切な施策を構築していきたいと思っております。

Q&A

薬物汚染から若者を
守れ



青木義勝 議員

Q 有名芸能人の薬物犯罪が社会に深刻な影を。今年上半期の検挙人数は昨年比21%増。憂慮すべきは、中・高・大学生など若者の汚染が激増。「薬物、絶対ダメ」毅然とした地域社会の取り組みと教育こそ大事では。

A 谷川町長
薬物汚染に何らかの形で対応し、防いでいかなければなりません。基本的には、青少年について言えは、教育であろうと思います。また、薬物によって体がどう蝕まれていくかというような、社会への啓蒙活動であろうと思います。それは教育の中でも行われるべきものであろうと思います。さらに取り締まり、検挙であろうと思います。やはり、これらの点から対応していかなければならないのではないかと、そういうことを具体的に国、県、我々行政機関が相提携しながら、この事犯の撲滅に向かって努力しなければならぬのではないかと思っています。

Q インフルエンザ対策は死者1000人を超えた。本町の発症数や学級閉鎖などの実態と受験生への影響と対応。今後のワクチンの見通しと、国・県が助成しない優先接種対象者への町独自の助成の考えは。

A 山分教育長
十一月現在、町立では幼・小・中合わせて六十二クラスのうち三十七クラスが閉鎖になっています。児童・生徒の健康状態を把握し、早期の学級閉鎖も行い、感染を最小限にしたいと思っています。

A 山下健康増進室長

町内での発症数ですが、町のみの数は把握していません。接種の実態や見通しですが、ワクチンの医療機関への配分は県が実施するため、詳細なことは把握していません。

公的助成ですが、優先接種対象者のうち生活保護世帯や非課税世帯の方達には国、県や町の公費負担で助成します。それ以外の優先接種対象者への町独自の公費助成は、現在考えておりません。

住基カードの活用状況



藍川佳津樹 議員

Q 財政厳しい中、電子業務のコストダウンが困難。その中で住基カードの運営が不調と聞くが、これに係る年間予算と発行枚数を伺います。

A 谷川町長
国がやることが必ずしも正しいとは思っていません。というのも地方の実情も変わってきますから、それに制度が追いついていくかということも検証し、追いついていないとしたら、地方から国に向かって物を申すべきではないかという考え方で常に町の行政を見ています。ご指摘は一考に値すると思っていて、どんな手続き、形でやっているのか、研究したいと思っています。

A 庭住民生活課長

費用ですが、システムリース料、保守委託料等で年間三百万円ほど

費用がかかっています。住基カードの交付の現況ですが、現在、二百八十六枚が発行済みとなっています。

Q 育成センター所長人事

四月以降人選はまだですが、教育長自らが、直接依頼にあたっての結果でしょうか。ハローワークもしくは一般公募は選択肢にありませんか。

A 山分教育長

ハローワークに出しているのかということですが、現在はまだ出しておりません。

次に、町広報で出すことを考えているのかということにつきましては、ハローワークに出す段階で広報にも出したいと思えます。

それから、今までに当たってきた人に対する交渉はだれがしたのかということですが、全て私のほうで関係者も含めて交渉に当たりました。

天皇陛下に入浜藻式 塩田の塩御献上する



井原猛雄 議員

Q 香川県の名産讃岐三白、綿糖（和三盆）、塩、そして特に塩については宇多津町の入浜藻式塩田の塩を宮中に献上したい。

秋篠宮殿下が中世の瀬戸内海上交通史を図書で発刊した。私は以前議会で中世の瀬戸内海上、海の道史で論議を張り、殿下との論議が似ており、平成22年6月の献上時に同席の依頼があったが、私は腰痛で県外出は不能であり、谷川町長が宇多津代表で出席するのが順当であり、谷川町長のご出席を希い願いたい。

A 谷川町長

中世の瀬戸内海交通史について、かねがね井原議員は、宇多津の歴史を非常に研究をされていて、色々なご発言をいただいております。また、そういう研究を重ねておられます。ご質問で具体的にお話がありました藻式塩田というものがどういふもので、過去中世にあつて、どういふ経路で天皇に献上されたのかということについて

は、申しわけありませんが、十分に分かっておりません。

ただ、今作っているものとしては、ご承知のような形の入浜の塩田で塩を作っております。そういう塩を、例えば天皇陛下とか、皇太子とか、常陸宮殿下とか、そういう方のところへ献上してみてもどうかというご提案であれば、それはありがたいとお受けして、それが実現するかどうか、探ってみることはしなければならぬのかな、というふうに思っています。

個人情報の管理体制を 問う



平田弘次 議員

Q 個人情報漏えいの防止には、最善の対策と管理者の意識向上は欠かせないものであり、漏らした側は信頼を失うだけではなく、莫大な損害賠償を支払うケースもある。宇多津町における管理体制は十分に整っているのか。

町では、情報セキュリティポリシーを制定し、そこに情報の漏洩防止のために遵守すべき事項などを明記しています。具体的には、人的な対策として、パスワードの適切な管理、セキュリティ教育の実施などがあります。また、個人所有の機器については、庁舎内に持ち込んで業務に使用できないこととなっております。

A 谷川総務課長

物理的な対策としては、電算室の指紋認証による入室制限、サーバーのロックの施錠、職員の端末の目的外使用の禁止、さらにはウェブ環境への接続禁止などとなっております。なお、外部委託の事業者との契約書には、機密保持に関する事項等の明記を義務づけています。

Q 資源ごみの持ち去りを許す。

公共のゴミ集積場から資源ゴミの古紙などを売却目的で持ち去る事件が発生している。町民の財産ともいふべき資源ゴミを泥棒から守るためには、罰則規定などを設け厳しく対応するべきでは。

A 延住民生活課長

町の今後の防止対策についてですが、持ち去りの多くが夜間に発生しているとことから、収集日の朝に資源ごみを出していただければ、持ち去りも少なくなるのではと思っております。また、一部の自治会では、コミュニティ分館などで、資源ごみを保管をして頂いているところもあります。さらに、例えば「町の持ち物ですよ」などと表示をしておけば、もし持ち去りがあった場合でも警察に協力してもらえ、といったことがあります。

「小さくても魅力いっぱい」 全国で初めてコンパクトタウン議会サミット開催する

11月5日 全国で面積が小さい町の議員同士が持続可能なまちの在り方を探る、第1回全国コンパクトタウン議会サミットが宇多津町議会主催で開催した。全国からは山梨県昭和町、福岡県志免町

(しめまち)、岡山県早島町、琴平町、宇多津町の、5町が参加し、県内の各町の議員も含め51名の出席があった。また一般傍聴者は23人の参加があり熱心に議論に耳を傾けていた。1部の基調講演では、



コンパクトシティー理論に詳しい名城大学の海道清信(かいどうきよのぶ)教授から「小さなまちの魅力と豊かなくらし」について全国各地や外国での実践の話があり、「人口が減るこれからは、歩いて生活できる小さな町で豊かな暮らしを目指すべきだ」「コンパクトなまちづくりは効率的で、地域の特色も打ち出せる」「意思決定や政策効果が早

い」などの小規模自治体の利点を挙げた。2部の円卓会議ワークショップでは5町の代表者が「わが町の将来と課題」のテーマで活発な意見交換がなされた。人口増加が続く町では「学校の教室が足りない」「待機児童問題の解消に取り組んでいる」

一方、「過疎の町になっており人口減が大きな悩み」など、また議会改革のため大学とタイアップしている(昭和町)、新規の団地には保育所の設置を義務づけている(志免町)、住民はきめ細かな住民サービスを選んだ(早島町)、人口減少している対策が必要(琴平町)、新旧住民の交流が課題(宇



多津町)などの意見がなされた。また翌日の6日には現地視察で琴平町を訪れ、金毘羅宮の表書院、金丸座などを見学し、2日間の日程を無事終了した。次回の開催は来年度に、日本のどこかの小さな町で開催できればと思う。

議会広報特別委員会研修報告

今回の研修は香川県広報発行町議会連絡協議会による議会広報編集委員県外研修で平成22年1月13日に日帰り研修を行った。香川県には現在9つの町があるが、そのうち議会だよりを発行している町は6町であり、その6町の合同研修で31人の参加があった。研修先は岡山県美咲町とした。美咲町の議会だよりは平成17年8月創刊で日はまだ浅いが平成20年度の議会広報全国コンクールで奨励賞を受賞している。美咲町議会だよりで特に気を付けていることは、

「見やすく、分かりやすく、簡潔な文章」「写真をたくさん使う」「空間を取り、見て疲れない紙面づくり」「町民参加のページを作る」などが挙げられる。今後の課題としては「追跡調査の掲載」などがあった。

宇多津町議会だよりでも、今後更に見やすい、わかりやすい、親しみやすい紙面づくりに努めていきたいと思う。



平成21年第4回臨時会開催

「期末手当を0.1カ月分減額」

平成21年第4回臨時会を平成21年11月30日に開催した。議案4件をすべて全会一致で可決した。議案の内容は、議員報酬、給与条例等の一部改正で、4件とも人事院勧告に伴う国家公務員の給与法の改定によるもので、国に準じた給与改定である。主な内容は、議員をはじめ町長、副町長、教育長、職員の期末手当などを0.1か月分減額するものである。

議会日誌

11月

- 4日 議員総会
- 5日 第1回全国コンパクトタウン議会サミット
- 6日 同上（現地視察）
- 20日 議会運営委員会
- 30日 第4回臨時会

12月

- 2日 議会運営委員会
- 4日 全員協議会
- 8日 第4回定例会本会議
- 10日 一般質問
- 11日 一般質問
- 14日 総務民生、建設教育合同委員会
- 14日 総務民生常任委員会
- 15日 建設教育常任委員会
- 16日 全員協議会・本会議
- 28日 仕事納め

1月

- 4日 仕事始め
- 5日 議員総会
- 13日 香川県広報発行町議会連絡協議会研修
- 27日 議会運営委員会

表紙の言葉



議長杯ゲートボール大会

1月16日宇多津町議会、議長杯ゲートボール大会が開催されました。

寒い日が続いていましたが、当日は暖かい日差しの中、試合が進みました。

議会も議員だけで、1チームを編制し参加させて頂きましたが、第1ゲートを通過させるのも難しく、毎日練習されている、参加チームとの試合では、当然勝負に成りませんでした、2試合とも完敗です。

如何に、毎日の練習の積み重ねが、大事であるのか思い知らされ、議員全員が良い経験をさせて頂き、楽しい1日を過ごさせて頂きました。

開かれた議会を目指して

宇多津町議会では、議会活性化のために、様々な取り組みをしています。

- 定例議員総会（毎月第1火曜日）
- 『議会だより』の作成・発行（年4回）
- 日曜議会などの開催
- 各委員会による調査・研究など

ご意見等は議会へ

（匿名によるご意見等はお受けする事ができません）

議会広報特別委員



宮本 隆委員 大松喜次郎委員 西本弘子委員
香川虎生委員長 池田弘昌議長 平田弘次副委員長

（K・H）

二〇〇二年一月に「議会だより」が創刊されから九年目を迎え、発刊当初の紙面と比べると一般質問のページを中心に読みやすくなりました。毎回、町民の皆様が親しんで読んで頂けたらと考え、表紙をはじめ、構成などは広報委員が知恵を絞り編集していますが、いかがでしょうか。議会活動のほんの一部ですが、「議会だより」を通して議会の様子や各議員の活動を分かりやすく届けられるよう努力してまいりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

編集後記